

令和2年度 沖縄歯科衛生士学校自己評価（歯科衛生士科） 2020年8月実施

評価	4:適切 3:ほぼ適切 2:やや適切 1:不適切	評価者 (14名)	学校運営委員 4名、専任教員 6名、指導教員 2名、事務 2名
----	--------------------------	--------------	---------------------------------

学校教育方針（教育理念）		学校関係者評価(次年度へ向けて)
温かく豊かな人間性を養い、保健医療実践者として、専門的知識、技術をもって地域社会の健康と福祉に貢献できる歯科衛生士を育成する		<ul style="list-style-type: none"> ・教育理念の言葉がどこに繋がっている目標なのか、更に、その中の重点努力目標がどこに繋がっているのかが読んで分かるということが大切。学生にもそれが分かりやすい方が良い。教育理念も、短く簡潔にし、学生も直ぐに暗記できる文言にまとめる方が良い。 ・現在は指導者の視点になっているので、更に、学生側の視点で「私はどうすればいい」という内容が追加されると良い。
学校教育目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科医療の高度化と社会環境の変化に対応することのできる歯科衛生士 2. 幅広い見識と豊かな人間性を有する歯科衛生士 3. 高い倫理観を持つ歯科衛生士 4. 資質向上に寄与することのできる歯科衛生士 5. 多職種連携のできる歯科衛生士 6. 科学的根拠に基づいた判断のできる歯科衛生士 	
重点努力目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科衛生士としての必要な知識・技術を習得できるように学習意欲の向上を目指す 2. 医療人としての責任感と使命感を養い向上心のある人材を育成 3. 歯科衛生士国家試験全員合格を目指す 4. 施設設備の充実と環境整備 	

大項目	評価項目	前期評価	成果、課題と今後の改善方策	学校関係者評価(次年度へ向けて)
I 教育理念、目的、人材育成像	1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3.9	【成果】 ・教育理念、学校教育目標、重点努力目標は、ある程度現状に合致している。 ・会立養成所であり講師陣や臨地・臨床実習施設の確保、就職活動が充実している。 ・超高齢社会、周術期口腔機能管理への対応として介護実習や高齢者施設、病院歯科実習の充実。 【課題】 ・学校の理念等学生・保護者の周知度は把握出来ていない。 【改善方策】 ・意識調査等の実施を検討。	<ul style="list-style-type: none"> ・周知についての評価が低い。改善方策の意識調査の実施は良いが、どの様な周知方法で、把握、検証をするかを具体的にあげておくと良い。 ・保護者に関心を持って知ってもらう方法を検討して下さい。
	2. 学校における職業教育の特色は何か	3.4		
	3. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.6		
	4. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知がなされているか	3.1		
	5. 教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向付けられているか	3.3		
II 学校運営	1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.4	【成果】 ・母体である歯科医師会会長が校長、常務理事が副校長であり理事会で運営方針に沿った事業計画を決定している。 ・運営組織や意思決定機能、人事、給与に関する内容は設置法人の定款諸規則等で明確化している。 ・教育活動に関する情報公開はHPや学校案内、会誌等で行っている。 【課題】 ・情報システム化は業者に依頼し今年度構築予定(コロナで作業延期) ・HP更新作業に問題(作業時間・担当者の確保) 【改善方策】 ・HP内容、担当制等の対策を検討。	<ul style="list-style-type: none"> ・システムと意志決定の表現が理解しにくい為に、評価が低い可能性があると思われるので、適切に運用されているとかの具体例を追加して、設問の文言を違う表現方法に工夫した方が良い。
	2. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.4		
	3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3.4		
	4. 人事、給与に関する制度は整備されているか	2.7		
	5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.1		
	6. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.2		
	7. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.6		

大項目	評価項目	前期評価	成果、課題と今後の改善方策	学校関係者評価(次年度へ向けて)	
Ⅲ 教育活動	(目標の設定等)				
	1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が、策定されているか	3.6	【成果】 ・教育課程は教育理念を元に編成され、必要に応じて見直しを行っている。 ・毎年シラバスの確認を行い、到達目標、学習時間を明確にしている。	・特に問題無し	
	2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.6			
	(教育方法・評価等)				
	3. カリキュラムは体系的に編成されているか	3.4	【成果】 ・カリキュラムは体系的に編成され、毎年見直しを行っている。 ・即戦力を養うため現場で活躍されている卒業生を講師に招いて実習内容の工夫を行っている。 ・成績評価・単位認定・進級・卒業判定は学則に明文化されている。 【課題】 ・授業評価体制は無い。 ・職業に対する外部評価は無し。 【改善方策】 ・卒業生就職先へのアンケート調査検討。	・改善方策につき検討して下さい	
	4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.5			
	5. 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.1			
	6. 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.6			
7. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.8				
(資格試験)					
8. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.3	【成果】 ・1年次から国家試験対策としての課題の取り組みを習慣化させている。 ・カリキュラムの中で国家試験直前対策講座を取り入れている。			・特に問題無し
Ⅲ 教育活動	(教職員)				
	9. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.2	【成果】 ・現在、専任・兼任教員共に要件を備えている状況である。 【課題】 ・今後、後任人事の際に確保人材が全く無い状況。 ・教員の確保につき検討が必要。 【改善方策】 ・専門科目は県歯会、琉大等の協力を得る。 ・一般教養科目は求人誌、ハローワークを活用。	・専門性の高い人材は不足気味になっていると思うので、なるべく具体的に計画を立てて育成・採用というのはどうか。	
	10. 関連分野における業界との連携において、優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3.1			
11. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得する為の研修や教員の指導力育成など資質向上の為の取組が行われているか	3.2				
Ⅳ 学修成果	1. 就職率の向上が図られているか	3.7	【成果】 ・有効求人倍率は毎年2.5倍以上で資格取得者の就職率は100%を維持。 ・退学者: 昨年は2人、今年度は無し。 ・今年度初めて卒業生へのアンケートを実施。 【課題】 ・資格取得94%。 ・卒業生の評価は実施無し。 【改善方策】 ・国家試験全員合格を目指し、成績不振者への早期のサポートを強化。 ・今後、就職先へのアンケート調査検討。 ・同窓会の活用。	・改善方策を実施すると、評価の低い内容が改善されるのかを今一度、しっかりと確認する必要がある。	
	2. 資格取得率の向上が図られているか	3.6			
	3. 退学率の低減が図られているか	3.4			
	4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3			
	5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.8			

大項目	評価項目	前期評価	成果、課題と今後の改善方策	学校関係者評価(次年度へ向けて)
V 学生支援	1. 就職に関する支援体制は整備されているか	3.6	【成果】 ・卒業までに全員就職決定を目指し支援を行っている。 ・担任制を取っているため定期的に学生アンケートを実施し、気になる学生は早期に面談を行い必要があれば保護者への連絡を頻繁に行う。特に一人暮らしの学生には教務全体で確認するようにしている。 ・修学支援新制度を始め、奨学金制度については説明会、申請サポートをかなり丁寧に行っている。 ・毎年の健康診断結果の把握と問題有りの場合には受診指導。 ・入学時点で健康につき特記事項を教員全体で把握し、緊急時に対応出来るよう配慮。 ・同窓会組織へ県歯会から補助金を出し支援。 ・専門実践教育訓練指定講座となっており対象者への支援を実施。	・活動報告から、学生支援はかなり充実している事が理解できるので、特に、項目6. 7. 8はカッコ書きで例題を示しておく必要があると思う。評価者それぞれの捉え方が違っていると思われる。
	2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.7		
	3. 保護者と適切に連携しているか	3.5		
	4. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.4		
	5. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.4		
	6. 学生の生活環境への支援は行われているか	3		
	7. 卒業生への支援体制はあるか	3		
	8. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3		
VI 教育環境	1. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.9	【課題】 ・会館の老朽化により施設整備の必要な箇所が増加。 ・安定的な臨床実習施設の確保ができていない。 ・定員増によるユニット不足。 【改善方策】 ・安定的な臨床実習の実施を目標に、今年度臨床実習施設を公募し拡充。 ・不足していたユニットを今年度増設予定。 【成果】 ・毎年、自主防災隊を結成し、年2回の自主訓練を実施。今年度コロナの影響で1回の実施。	・他の項目と同じように【成果】【課題】の順序を入れ替えて表記した方が良い。
	2. 学内外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか	3.5		
	3. 防災に対する体制は整備されているか	3.4		
VII 学生募集	1. 高等学校等、接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.5	【成果】 ・毎年沖縄全島に学校パンフレットを配付を行うとともに高等学校訪問を実施。 ・学生募集要項、オープンキャンパス、HPにおいて国家試験合格率、就職率の情報を公開。 ・学納金は九州各県の中でも低額を維持。	・特に問題無し
	2. 学生募集活動は、適正に行われているか	3.6		
	3. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3.6		
	4. 学生納付金は妥当なものとなっているか	3.4		
VIII 財務	1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.9	【成果】 ・県歯科医師会の管理で運営しており、中長期的な財務基盤は安定している。 ・毎年、事業計画・予算編成・決算処理を行い、監査を受けている。 ・税理士による毎月の監査、アドバイスを受け適切な運営を行っている。 ・設置法人が行う財務情報公開、及び修学支援新制度における情報公開を行っている。	・項目2の有効でないと言っているのか、妥当で無いと言っているのかによっても評価が違ってくるはずなので設問を理解しやすい文言に検討した方が良い。 ・「適切なもの」の表現がいいのでは。
	2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.7		
	3. 財務について会計監査が適正に行われているか	3.5		
	4. 財務情報公開の体制整備はできているか	3.1		
IX 法令等の遵守	1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.5	【成果】 ・法令・専修学校設置基準の遵守と適正な運営を行っている。 ・個人情報保護については設置法人に準じている。 ・2019年度より自己評価を行いHP公開し問題点の改善に努めている。今後も継続	・特に問題無し
	2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.2		
	3. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.4		
	4. 自己評価結果を公開しているか	3.1		
X 社会貢献・地域貢献	1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.9	【成果】 ・本校シミュレーションや歯科用ユニットを活用し歯科衛生士復職支援セミナーや歯科衛生士会研修会の実施。 ・自主的なボランティア活動の推奨。	・様々な事を行っているが、設問の意味がわかりづらい為、適切な評価になっていない気がする。事例等を追加するよう検討する必要がある。
	2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.2		
その他所見	・評価委員を代表して(上江洲委員より) 歯科は学校歯科医を含め、子どもの頃から必ず関わりを持つわけで、今後ともとも必要性を感じます。今回の評価ですが、低い評価、課題が挙がったものを、出来たら付箋紙に書き出して、座標軸法(重要度が高い、低い、緊急度が高い、低い)と言いますが、その上に置いてみて、重要度が高く、緊急度があるものから先に改革を行えば良い。これをやるとか、ここを重点目標に、次は出来そうなものをあげていくとこれが使えそうです。一年間でこれだけ進んだのが凄いなと思って見えています。改善していく様子を記録に残しておく事は、今後とも重要な事だと思います。			